

辺野古に新しい基地をつくるな

普天間基地は閉鎖し、撤去せよ

安倍内閣は沖縄の総意を踏みにじって、あくまで辺野古に新しい米軍基地をつくらうとしています。

沖縄防衛局は、沖縄県から辺野古沖の「公有水面埋め立て申請書」の記述不備の指摘に、埋め立てに使う土砂の採取場所、量、搬入経路などを記述した「補正書」を沖縄県に提出しました。今後、沖縄県は内容審査作業をおこない、年内をめどに辺野古沖の「公有水面埋め立て」の可否について結論を出す予定です。

私たちは、沖縄県知事あてに「公有水面埋め立て承認申請の却下」を求める100万はがき運動に取り組んでいます。是非、ご協力ください。

普天間基地のオスプレイ



これが、珊瑚の海を埋め立てつくられるV字滑走路。

オスプレイ、海自艦船に初着艦

自衛隊と米海兵隊などが米カルフォルニア沖でおこなっている共同訓練で6月15日、海兵隊のオスプレイが初めて、海自の大型護衛艦「ひゅうが」の艦上に着艦し、格納庫に収納、そして離陸するという訓練をおこなっています。(共同訓練は26日まで)

これは、「共同訓練」を口実に、自衛隊の欠陥機オスプレイ導入計画を「オスプレイは安全で有効」、「島嶼防衛は日米一体で」をアピールする狙いです。

「米軍輸送機オスプレイの配備撤回・低空飛行訓練中止」を求める署名にご協力をお願いします。

八尾空港での「オスプレイ訓練」要請撤回を

とんでもない

日本維新の会の橋本徹共同代表（大阪市長）は、6月6日、安倍首相、菅官房長官と会談し、大阪府八尾市の八尾空港を使用したオスプレイの訓練を検討するよう申し入れました。これに対して菅官房長官は「歓迎したい」と述べ、安倍首相は防衛大臣に検討を指示しました。

住宅密集地の中にある八尾空港で訓練をおこなうことは常軌を逸するものです。これは、「オ

スプレイ配備撤回」を求めている沖縄県民の要求ではなく、今夏の12機追加配備に向けて、偽りの「負担軽減」を演出しようとするものであり、全国に危険を拡大するものです。

私たちは、日本へのオスプレイ配備の撤回と、全国への訓練拡大に反対し、橋本徹共同代表の八尾空港での訓練検討要請の撤回を求めます。

安保破棄中央実行委員会 Eメール anpohaiki@nifty.com
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765

2013年
6月